

令和7年度 学校経営計画書

学校番号	24	学校名	静岡県立伊豆の国特別支援学校	校長名	松本 仁美
------	----	-----	----------------	-----	-------

1 目指す学校像

(1) 学校教育目標

良さが輝き 未来をひらく

一人一人が確かな学びを積み重ね、仲間や地域とつながりながら、自分の良さを生きる力へと輝かせ、夢や希望をもち、自ら未来をひらく（「開く」「拓く」「啓く」）人を目指す。

(2) 目標具現化の柱

- ア **【安全・安心】** 命と健康を守り、人権を尊重し、一人一人を大切にする学校
 イ **【専門性】** 確かな力を積み上げ、一人一人の良さを引き出す学校
 ウ **【連携】** 保護者や地域と連携し、児童生徒の社会参加を目指す学校
 エ **【チーム学校】** 教職員が主体的に学校づくりに参画する学校

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

【安全・安心】 命と健康を守り、人権を尊重し、一人一人を大切にする学校

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	生命の尊さや人とのつながりを大切にし、一人一人の良さを受け入れ、互いを思いやる心の醸成	・児童生徒の命を第一に考え、一人一人の気持ちや願いを受け止める支援の充実	・各学部の経営計画に基づき、児童生徒の命が守られていると答える教職員や保護者（AB100%）	各学部 学習指導課
		・人権感覚を高め、声を掛けやすい雰囲気と、いじめや教職員の不祥事を見逃さない体制づくり	・信頼できる教職員に向けて、自身の行動を振り返ることができた教職員（AB100%）	各学部 学習指導課
ア	命のつながりを実感する食育の推進	・地域の産物や生産者、献立や食材の特長と栄養等、6つの食育の視点を意識した食育の実践、及び給食センターと連携した給食の提供	・給食センターと連携し、食育指導や安全な給食提供ができたと答える教職員及び保護者（AB90%）	各学部 健康課
ア	児童生徒の命を守る安全教育の充実	・実効性の高い訓練方法を探るとともに、緊急時において、主体的に行動できる実践力の育成 ・ヒヤリハットの迅速な報告と共有及び今後に生かす取組	・緊急時の対応や防犯防災訓練をとおして、自分の身の守り方を学んだ児童生徒・教職員（AB80%）	防災課 健康課 学習指導課 各学部 事務部

【専門性】 確かな力を積み上げ、一人一人の良さを引き出す学校

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
イ	主体的・協働的・深い学びによって、資質・能力を育成する授業実践	・一人1授業研による学び合う校内研修の工夫と、授業力の向上	・ラーニングマップ等の活用による授業づくりを行い、実践後に授業改善を進めた教員（AB90%）	研修課 各学部
		・多面的な実態把握から学習課題を設定した、国語・算数数学の授業実践及び授業改善	・児童生徒の実態と学びを見取り、適切な目標設定と評価ができた教員（AB90%）	研修課 各学部

様式第1号

イ	特別支援教育の専門性の向上	・児童生徒の実態や障害特性に応じた指導のための校内研修の充実	・障害の特性に応じた支援や学習指導要領に基づく研修ができた教員 (AB90%)	自立活動課 研修課 各学部
		・PCやタブレット活用による主体的学びとICT教育の推進	・PCやタブレット等の活用により、授業準備の効率化や学習の定着に効果を得た教員 (AB80%)	学習指導課 研修課 各学部

【連携】 保護者や地域と連携し、児童生徒の社会参加を目指す学校

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ウ	キャリア教育の視点で小中学部、高等部のつながりと、児童生徒の願いや夢を大切にした進路指導の充実	・個別の指導計画を基に、児童生徒の実態と将来を見据えた指導の充実	・小中高の系統性や将来を意識して指導できた教員 (AB90%)	各学部 自立活動課 学習指導課
		・児童生徒の願いや夢を叶えるための地域社会の幅広い情報や、進路情報の提供の充実	・児童生徒に応じた適切な情報提供や、進路指導ができた教員及び保護者 (AB90%)	学習指導課 各学部
ウ	地域住民との協働を推進し、地域と共に歩む学校づくり	・児童生徒及び教職員が地域に貢献し、地域で活躍できる場や環境の設定	・各学部において、適切な交流を計画し、地域に貢献できたと感じる教職員 (AB85%)	各学部
		・児童生徒や教職員が、地域の自然や歴史、産物等に触れ、地域の良さを感じる地域活動の充実	・地域の資源や人材を活用した学習活動をとおして、児童生徒が意欲的に学んだと感じる教職員及び保護者 (AB85%)	各学部

【チーム学校】 教職員が主体的に学校づくりに参画する学校

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
エ	特別支援学校のセンター的機能の充実及び関係機関との連携の強化	・支援要請に対し、迅速且つ適切な相談と継続した支援の実施	・センター的機能による成果の整理及び検証（毎学期）	コーディネーター
		・外部関係諸機関との連携と、迅速で丁寧につながる支援体制づくり	・学校内外の情報共有と、支援会議やケース会議等での案件の整理及び成果の検証（毎学期）	各学部 コーディネーター
エ	教職員一人一人が責任をもった業務遂行と、やりがいを感じる働き方の推進	・教職員一人一人が、業務に責任をもち、学部や学校経営への参画の意識の醸成	・キャリアステージと自己評価シートに基づき、自身の役割を理解して、分掌や学部学年の運営等に携わった教職員 (AB90%)	各学部 各分掌 事務部
		・学部及び分掌、事務部の業務内容の精選と、教職員一人一人のタイムマネジメント等働き方の意識改革	・計画的な業務遂行のために努力し、働き方を改善できた教職員 (AB100%)	各学部 教務課 各分掌 事務部